

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国 必 費 要 投 入 の 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	砂漠化による影響は、環境保全、気候変動、衛生、食料など、人間生活のあらゆることに及ぶと言われており、日本でも黄砂問題等について関心が高い。本事業は、国家間の条約事務局の運営に関する費用支出であり、国が実施すべき事業。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			－	2年に1度開催される締約国会議において、会計報告がなされるとともに、各国は国別報告書を提出することになっている。これに基づき、補助機関である条約実施レビュー委員会では、各国の取組を分析し、効果的な条約実施のための議論・提言を行うなど、透明性の確保と条約実施の効率化に努めている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			－		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			－		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			－		
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			－	2009年第8回締約国会議において、条約実施を推進のための「10年戦略」が採択され、この戦略において設定されている目標の達成に向け、各加盟国が取り組みを実施している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			－		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	日常業務を通じた事務局活動の把握に加え、2年に一度開催される締約国会議及び1年に一度程度開催される補助機関会合において、砂漠化への対処という条約の目的が推進されているか、適正な財政執行がなされているか検証している。引き続き、他の締約国と連携し、締約国会議等の場を活用し、事務局に対して一層の業務効率化を求める。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 状 通 り	日本の分担額・拠出額に応じて要求を見直す。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現 状 通 り						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	36	平成23年	27	平成24年	47